
MY PLACE

裕夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MY PLACE

【Zコード】

Z5724D

【作者名】

裕夜

【あらすじ】

兄貴をなくして5年。兄貴が死んだのを境に”死線”が見えるよ
うになつた沙羅。そんな彼女の前にある男が現れる。そこから、沙
羅の本当の人生が幕を開けた。

0・消失

0・消失

あたしの兄貴は”ワル”だった。

毎晩遊びに行つて帰つてくるのは夜。

よく笑つてた兄貴だけど、ときどき見せる顔はすぐ怖かった。

かつこよかつた兄貴は良くもてた。

兄貴に彼女が居ないときをあたしは知らない。

そんな兄貴が突然死んだ。

事故だつたらしい。

お酒を飲んでバイクで走り回つて事故つた。

父さんは拳を握つて震えていて、母さんは泣き崩れた。

「馬鹿だなあ、兄貴。」

あたしの口からそんな一言しか出でこなかつた。

涙も出なかつた。

・・・外を見ると、すゞく綺麗な青空だつた。

- 兄貴と心をなくした 12の夏 -

やつぱり兄貴のことは怖かつた。

でも、大好きだつた。

1：死線

冷たい北風があたしの顔に吹き付ける。

今日も”死線”が見える。

兄貴が死んで5年。あたしは高校生になつた。

普通に友達も居るし、部活だってやつてゐる。

そんなあたしが他人とひとつだけ違う事。

”死線”が見えること。

兄貴が死んだ次の日、あたしの世界が変わった。

そこのひじゅうに落書きのよくな黒い線。

ベッドに、TVに、ぬいぐるみにも・・・。

あたしは一番近くにあつたぬいぐるみを手にとって、線をなぞつた。

すると・・・

なぞつた線に沿つてぬいぐるみが一つに切れた。

まるで刃物に切られたよう。

あたしは次々に物をなぞつていった。

鉛筆だつて、下敷きだつて・・・鉄製のものまで壊れしていく。

ガチャツ

「沙羅、あなた何してるの？」

物音を聞きつけて母さんが部屋に入ってきた。

母さんの皿に映るのは・・・壊れたものにかこまれてるあたし。

「沙羅ーー！」

母さんは悲鳴に近い声を上げた。

「母さん・・・」の線、何？」

「え？」

「落書きしたみたいに・・・やーいじゅうにあるじちゃん。

この線なぞつたらなんでも切れたんだよ。」

母さんは、責めめた。

「線なんて・・・何も・・・ないわよ・・・。」

泣き玉の母さん。

あたしが変になってしまったのかと。

なぜ自分の生む子は普通じゃないのかと。

兄貴が死んだだけでも壊れかけていた母さんは本当にボロボロだった。

あたしは、そんな母さんを見ている事はできなかつた。

「なーんぢやつて…」ついだよ、母さん。」

そう言つてあたしが笑うと、馬鹿な事はやめなこと安心したように言つて母さんは部屋から出て行つた。

あたしはそれを”死線”と読んでだれにも教えなかつた。

そつ、誰にも・・・

1：死線（後書き）

次からちゃんと本編となります（たぶん
ちゃんと主人公と要人物からみます（たぶん

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5724d/>

MY PLACE

2010年10月26日09時29分発行